

[成果情報名] 栽培が容易で高品質多収生産が可能なスモモ中生品種「李王」

[要約] スモモ品種「李王」は収量が約1,800kg/10aと高く、果実重は約 120 g と重く糖度は13.8と高い。花芽着生率や結実率は既存品種と同等で、2本主枝棚仕立てでは栽培が容易である。

[キーワード] スモモ、李王、花芽着生率、結実率、2本主枝棚仕立て

[担当] 長崎県果樹試験場・落葉果樹科

[連絡先] 電話0957-55-8740、電子メールrakuyo@afes.pref.nagasaki.jp

[区分] 九州沖縄農業・果樹

[分類] 技術・参考

[背景・ねらい]

スモモの高品質で多収栽培が可能な中生品種を選抜する。

[成果の内容・特徴]

1. 「李王」の萌芽期及び開花期は「サンタローザ」とほぼ同時期で、成熟期は「サンタローザ」よりやや遅い、7月上旬である。果皮色は鮮やかな紅で、果肉色は淡黄色、果粉は中で、肉質はやや軟らかい(表1)。
2. 「李王」の果実重は約 120 g で「サンタローザ」と比較して約 15 g 重く、「李王」の糖度は 13.8で「サンタローザ」より 1.5高い(表2)。
3. 「李王」の収量は約 1,800kgで「サンタローザ」より約 600kg以上多く、「李王」の生果率は約90%で「サンタローザ」より20%以上高い(表3)。
4. 「李王」の花芽着生や結果率は「サンタローザ」と大差なく、新しょう長は「サンタローザ」より長く、新しょう発生本数は「サンタローザ」より少ない(表4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 棚仕立て 2本主枝に整枝した雨除け栽培の結果である。
2. 収穫後の日持ちがやや悪いので適期に収穫を行う。

[具体的データ]

表 1 生育相と果実形質(1999年～2002年平均)

品 種	萌芽期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	果皮色	果肉色	果粉	肉質
李 王	3.13	3.22	7.7	紅	淡黄	中	竹軟
サカキザ	3.12	3.22	6.30	濃紫	乳白	多	中

表 2 生育相と果実品質

品種	年度	果実重 (g)	果形指数 ^z	着色歩合 ^y	糖度 (Brix)	pH
李 王	2000	117.3	102.9	1.1	12.5	5.32
	2001	123.3	104.6	3.2	13.6	4.89
	2002	112.2	107.3	3.6	15.4	4.26
サカキザ	2000	109.1	102.1	8.6	11.6	5.32
	2001	107.5	104.3	9.0	11.6	4.56
	2002	75.1	97.6	9.9	13.7	4.20

^z 横径 / 縦径 × 100

^y 果実全面に着色した場合を10の指数で表示

表 3 収量、着果密度、樹冠占有面積及び生果率

品種	年度	収量 (kg/10a)	着果密度 (果/m ²)	樹冠面積 (m ²)	生果率 ^z (%)
李 王	2000	1,897	16.2	14.9	92.5
	2001	2,055	16.7	12.6	88.5
	2002	1,465	12.6	19.9	91.0
サカキザ	2000	1,056	9.7	12.5	56.2
	2001	1,190	11.1	14.9	64.4
	2002	1,258	13.1	18.7	82.2

^z 収穫した果実数に対する優品以上の割合

表 4 樹体特性(2002年 1月調査)

品 種	花芽着生率 (%)	花芽密度 ^z (果/10cm)	結果密度 ^z (果/10cm)	新梢長 ^y (cm)	新梢密度 ^x (本/m ²)
李 王	81.1	17.5	46.4	26.2	50.1
サカキザ	81.8	17.1	49.1	19.5	68.6

^z 側枝10cm当たりの花芽数、満開20日後の結果数

^y 側枝先端の發育枝長

^x 1樹当たりの全発芽新しょう数

[その他]

研究課題名：特定果樹の栽培法

予算区分：県単

研究期間：2000～2003年度

研究担当者：寺井 理治、谷本 恵美子、田中 実、中倉 建二郎